

H31 年度 ジェンダー論 B Gender Studies B

※OCW への公開は 9 月中旬以降の予定です

開講元 文系教養科目

担当教員名 砂川 秀樹

授業形態 講義

単位数 2

開講クォーター 4Q

曜日・時限 月・木 1-2 限

科目コード LAH.S214

使用言語 日本語

シラバス

講義の概要とねらい

ジェンダー論は、日々、誰もが経験しながら、当たり前のこととして見過ごしがちな、性別という枠組み、意味づけ、それらを通して経験していることを問い直す学問と言えます。では、なぜ、そうした「問い直し」がなされてきたのでしょうか。

この授業では、男性学、フェミニズム、クィア・スタディーズ、といった学問や運動の中で問題とされてきたこと、その背景にある社会構造等について学び、それを、ディスカッションを通じて、具体的な社会問題、自身の経験と結びつけていきます。そして、その「問い直し」が必要だった理由について理解を深めたいと思います。

到達目標

本講義を履修することによって、以下の能力を習得する。

- (1) 男性学、フェミニズム、クィアスタディーズの入門的な知識を得る
- (2) 社会問題や自身の経験と (1) の知識を結びつけられるようになる
- (3) ジェンダーに関する具体的な問題と、その対応方法について学ぶ

学生が身につける力

国際教養力	コミュニケーション力	専門力	課題設定力	実践力または解決力
✓	✓	—	✓	✓

授業の進め方

男性学、フェミニズム、クィアスタディーズについて学び、ディスカッションする。また、ジェンダーに関連する具体的な問題についても学ぶ。学生の理解度、授業の進捗状況により、計画を変更する可能性がある。

授業計画

授業計画（全 15 回）		課題
第 1 回	イントロダクション	
第 2 回	ジェンダーとは何か	ジェンダーという視点を意識することの意味について考えを深める。
第 3 回	セクシュアリティとは何か	セクシュアリティという語の意味について理解する。
第 4 回	男性学を知る（1）	男性学が問題にしてきたことを知る。
第 5 回	男性学を知る（2）	男性学の新しい論文を読み、今の問題を知る
第 6 回	ワークショップ - 男性のジェンダー問題	男性の抱えがちな困難さについてディスカッションする
第 7 回	フェミニズムを知る（1） リベラルフェミニズム	リベラルフェミニズムが求めてきたこと、達成してきたことを理解する
第 8 回	フェミニズムを知る（2） ラディカルフェミニズム	リベラルフェミニズムと、ラディカルフェミニズムを比較する。
第 9 回	フェミニズムを知る（3） マルクス主義フェミニズム	三つのフェミニズムの考え方を比較する。
第 10 回	ワークショップ - 女性のジェンダー問題	女性の抱えがちな困難さについてディスカッションする
第 11 回	クィアスタディーズを知る（1）	クィアスタディーズが問題にしてきたことを知る。
第 12 回	クィアスタディーズを知る（2）	クィアスタディーズの理論を知る。
第 13 回	ワークショップ - 性別再考	新しい視点から性別を考えてみる。
第 14 回	具体的な問題について知る（1） ドメスティック・バイオレンス	具体的なジェンダーに関連する問題の対処法を学ぶ。
第 15 回	具体的な問題について知る（2） リプロダクティブ・ヘルス	具体的なジェンダーに関連する問題の対処法を学ぶ。

教科書

教科書は使用しない。資料は毎回の授業で配布する。

参考書・講義資料等

- ◆ 伊藤公雄・樹村みのり・國信潤子 『女性学・男性学 ジェンダー論入門』（有斐閣アルマ）
- ◆ 江原由美子・金井淑子 [編] 『フェミニズム』（新曜社）
- ◆ 森山至貴 『LGBT を読みとく -- クィア・スタディーズ入門』（ちくま新書）

成績評価の基準及び方法

- ◆ 授業内課題・授業の感想シート 30%
- ◆ 授業中のディスカッションへの参加度および貢献度 20%
- ◆ 最終レポート 50%

関連する科目

LAH.S439 「文系エッセンス 46 : ジェンダー論」

履修の条件（知識・技能・履修済科目等）

ディスカッションには積極的な参加が求められるが、その際に攻撃的な態度をとらないよう気をつけること。

オフィスアワー

メールで事前に予約すること。